



山梨県内の特別支援学校 14 校へ

「リサイクルトイレットペーパー」を贈呈いたしました

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、3月9日（水）、地域社会貢献への取組みの一環として、昨年度に引き続き、山梨県内の特別支援学校 14 校の皆さまへ、当行内の紙文書を再生利用した「リサイクルトイレットペーパー（5,000 ロール）」を贈呈いたしました。

当行は、事業活動を通じて地域経済の発展に尽くすとともに、気候変動や社会格差など、幅広い課題解決を目指す「SDG s（持続可能な開発目標）」などの理念を踏まえ、環境的側面・社会的側面を強く認識し、持続可能な地域社会の実現に貢献していく「CSR（企業の社会的責任）活動」への取組みを強化しております。

当行は、今後とも、国連が提唱する「SDG s」の達成に貢献するために、地域金融機関として、地域の企業・産業の発展を支え、地域を元気にし、地域に暮らす皆さまの豊かな生活づくりを支援することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



<贈呈式の様子> 左から 関頭取、三井教育長